

消 防 年 報

平成24年版



中津市消防本部

はじめに

この消防年報は、中津市消防本部の現勢と平成 24 年中の消防に関する諸般の事項を収録し、今後の消防行政運営上の参考資料に資するために編さんしたものです。

尚、統計については原則として暦年、予算関係については会計年度とし、表中に年月を明示したものについては、その時点での現況としています。

平成 25 年 4 月

中津市消防本部

目 次

1 地勢及び情勢

- ・ 管内の概況
- ・ 消防機関の所在地
- ・ 管内の紹介
- ・ 年齢区分別割合
- ・ 庁舎の現況
- ・ 沿革

2 総務

- ・ 組織・構成
- ・ 事務分掌
- ・ 人事関係（職員年齢構成表、職員勤続年数）
- ・ 職員の配置状況
- ・ 予算関係
- ・ 職員の各種資格免許取得状況

3 予防

- ・ 管内地域別防火対象物の現況
- ・ 消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物
- ・ 消防同意件数（計画変更含む）
- ・ 中高層建築物
- ・ 防火管理者選任を要する対象物
- ・ 各種届出事務処理状況
- ・ 住宅用火災警報器設置率の推移

4 危険物

- ・ 危険物製造所等の施設数
- ・ 危険物事務処理状況（許可又は検査の数）

5 消防団

- ・ 方面団別消防団員実員状況
方面団別及び年齢別消防団員数
- ・ 方面団別消防機械の配置状況

6 通信指令室

- ・ 通信指令室概要
- ・ 通信施設 無線局一覧表
- ・ 119番通報受信件数
- ・ 緊急通報システムの受信状況等

7 火災・管理・調査

- ・ 出動区分表
- ・ 年次別火災統計
- ・ 月別火災発生件数
- ・ 地域別の火災発生状況及び被災状況
- ・ 出火原因
- ・ 時間帯別出火件数 曜日別出火件数
- ・ 消防水利の現有状況
- ・ 相互応援協定締結状況

8 救助・指導

- ・ 救助概要
- ・ 月別救助出動件数
- ・ 発生場所別救助活動の状況
- ・ 消防機材等の現有状況
- ・ 特殊災害(B・C)活動用資器材
- ・ 車両の配置状況
- ・ 消防用車両等一覧表
- ・ 調査・指導等活動状況

9 救急

- ・ 救急概要
- ・ 過去10ヵ年救急出動件数の推移状況
地域別救急出動件数
- ・ 救急出動件数
救急搬送人員
- ・ 月別・時間別出動件数状況
- ・ 年齢別搬送人員状況
傷病程度別搬送人員状況
- ・ 曜日別救急出動件数状況
医療機関別搬送人員状況
- ・ 覚知別救急出場件数の状況
- ・ 現場到着までの所要時間
医療機関収容までの所要時間
- ・ 救急隊員の行った応急処置状況

地勢及び情勢



管内の概況

当地域は、大分県の北部に位置し、地勢は阿蘇火山系の外側で起伏の多い耶馬溪等の溪谷地帯と、沖代平野の平坦部に大別される。

河川は、英彦山を起源にした一級河川山国川が地域西側を流れ、周防灘に注いでいる。

交通は、地域の北側平坦部を東西に貫通する J R 日豊本線、国道 10 号と溪谷部を南北に走る国道 212 号、又これを軸にした県・市道等の地方道が溪谷地帯や平坦地帯に数多く走っている。

気候は、瀬戸内海性気候に属し、比較的温暖であるが、溪谷・平坦地帯とも台風等の影響を受けやすく、特に溪谷部では土砂災害の危険度も大きい。

平成 24 年の年間平均気温は 15.6℃、年間降水量は 1,707 mm で、特に冬季から春季にかけては空気が乾燥し、季節風が強く、火災予防上危険度が高い。



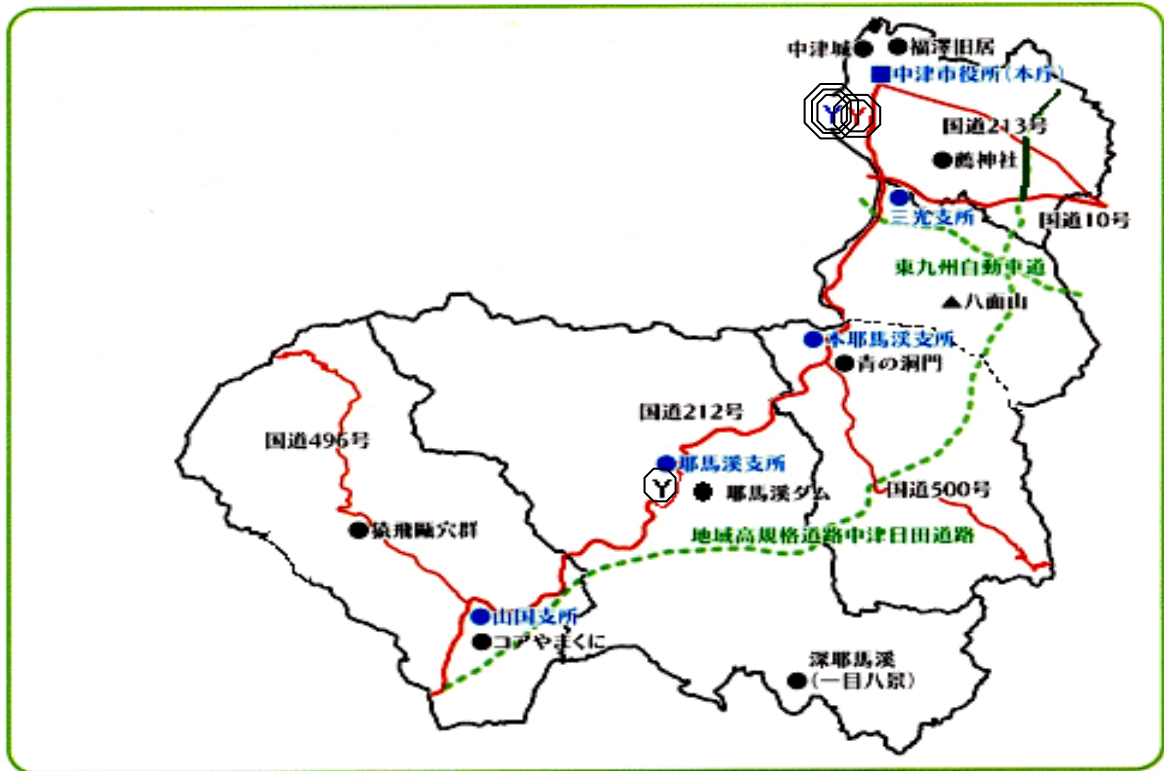
消防機関の所在地










中津市消防本部・署



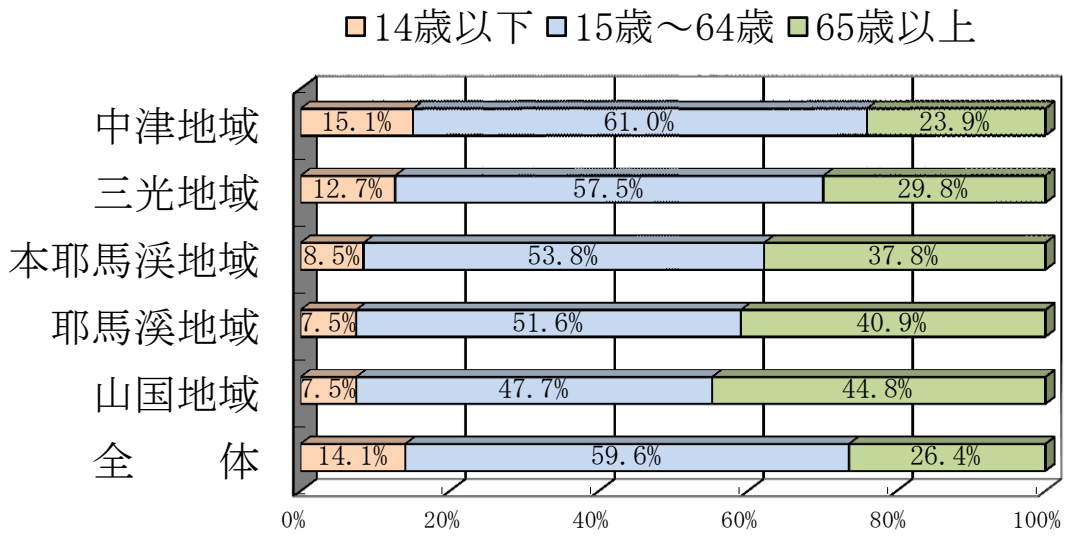
耶馬溪分署



凡 例

- 
消防本部
- 
本署
- 
耶馬溪分署
- 
管轄境界線
- 
主要幹線道路
- 
自動車専用道路(開通区間)
- 
自動車専用道路(未開通区間)

年齢区分別割合



中津市

人口

85,522人

世帯数

37,383戸

面積

491.17 km²



庁舎の現況

中津市消防本部・署



所在地	大分県中津市大字上宮永364	T E L	0979-22-0001 (代)
敷地面積	7287.73m ²	職員数	71名
床面積	1942.94m ²	車両台数	16台
建築年月日	昭和51年7月		

耶馬溪分署



所在地	大分県中津市耶馬溪町大字大島2216-1	T E L	0979-54-2100
敷地面積	2490.75m ²	職員数	24名
床面積	567.12m ²	車両台数	5台
建築年月日	昭和50年3月		

沿 革

昭和12年	4月	中津市夜間常備消防部発足実動 (普通ポンプ車……1台 部員……11人)
昭和18年	4月	中津市常備消防部発足実動 (普通ポンプ車……1台 部員……18人)
昭和27年	4月	中津市消防本部・消防署発足 (普通ポンプ車……2台 職員……18人)
昭和43年	6月	救急業務実動開始
昭和44年	4月	隣接の豊前市・吉富町・新吉富町・大平村と応援協定を締結
昭和48年	7月	隣接の三光村と応援協定を締結
昭和49年	7月	中津市と下毛郡内3町1村との広域消防発足
昭和50年	4月	中津下毛広域消防本部・消防署 耶馬溪出張所全面実動(水槽付消防ポンプ自動車1台、普通ポンプ車1台 救急車1台、広報車1台、職員数20名)
昭和51年	3月	大分県常備消防相互応援協定締結
	7月	中津下毛広域消防本部・消防署新庁舎竣工
	8月	旧庁舎より新庁舎に移転実動開始
昭和52年	11月	本署スノーケル車配備
昭和55年	6月	本署指揮車更新
昭和56年	3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得(5,527.73㎡)
	4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得(999.87㎡)
昭和57年	2月	本署救急1号車日本損害保険協会より寄贈される
昭和58年	3月	出張所広報車更新
昭和59年	2月	本署消防1号車(水槽付消防ポンプ自動車)更新
	8月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得(938.00㎡)
	12月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地拡張分取得(307.00㎡)
昭和60年	11月	出張所消防1号車(水槽付消防ポンプ自動車)更新
	11月	火の用心号日本防火協会より寄贈される
昭和61年	8月	出張所救急車更新
昭和62年	3月	人員搬送車寄贈(国際ソロプチミスト中津) 消防緊急情報システム設置 訓練塔新設・竣工
昭和63年	2月	本署救助工作車配備
	2月	桧原山無線中継局開設
	3月	本署救急車日本損害保険協会より寄贈される
	12月	出張所消防2号車(ポンプ車)更新

平成 元年	2月	本署化学車更新
	3月	本署車庫及び屋内訓練場増築
	5月	山国無線中継局開設
	12月	本署消防3号車（ポンプ車）更新
平成 2年	2月	救急車日本消防協会より寄贈される
平成 3年	3月	本署事務連絡車配備
	3月	中津下毛広域消防本部・消防署の敷地取得（515.00㎡）
	12月	本署消防2号車（ポンプ車）更新
平成 4年	4月	中津下毛広域消防本部・耶馬溪出張所の敷地取得（1,455.00㎡）
	8月	本部指揮車更新
	9月	出張所救急車更新
平成 6年	2月	本署梯子車配備（35m）
	2月	耶馬溪出張所車庫増築（264.07㎡）
	8月	出張所広報救急車更新
平成 7年	9月	本部・署機構改革 本部2係、署5係を置く 本署救急車更新
平成 8年	12月	本署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
平成 9年	3月	本部査察車更新、日本消防協会より寄贈される
平成10年	2月	本署高規格救急車配備
	4月	本署高規格救急車運用開始
平成11年	1月	本署通信指令室増築（175.16㎡）
平成12年	3月	本署新通信指令室運用開始
	11月	出張所消防2号車（ポンプ車）更新、日本損害保険協会より寄贈される
平成13年	1月	本部査察車更新
平成14年	1月	本署人員資器材搬送車配備
	4月	本部・本署・耶馬溪出張所機構改革 本部3係、本署5係、耶馬溪出張所を分署と改称し、3係を置く
	11月	分署高規格救急車配備
平成16年	2月	分署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
	3月	本署救急車（2B）更新
平成17年	2月	広城市町村圏事務組合解散
	3月	中津市消防本部・消防署発足（市町村合併にともない一部事務体制の変更）
平成18年	3月	本署救助工作車Ⅱ型更新
平成20年	3月	本署高規格救急車更新
	4月	本部・本署機構改革 3課12係を置く
平成21年	8月	本署消防2号車（ポンプ車）更新
平成22年	2月	分署救急車更新（高規格救急車）
	3月	本署指揮車更新

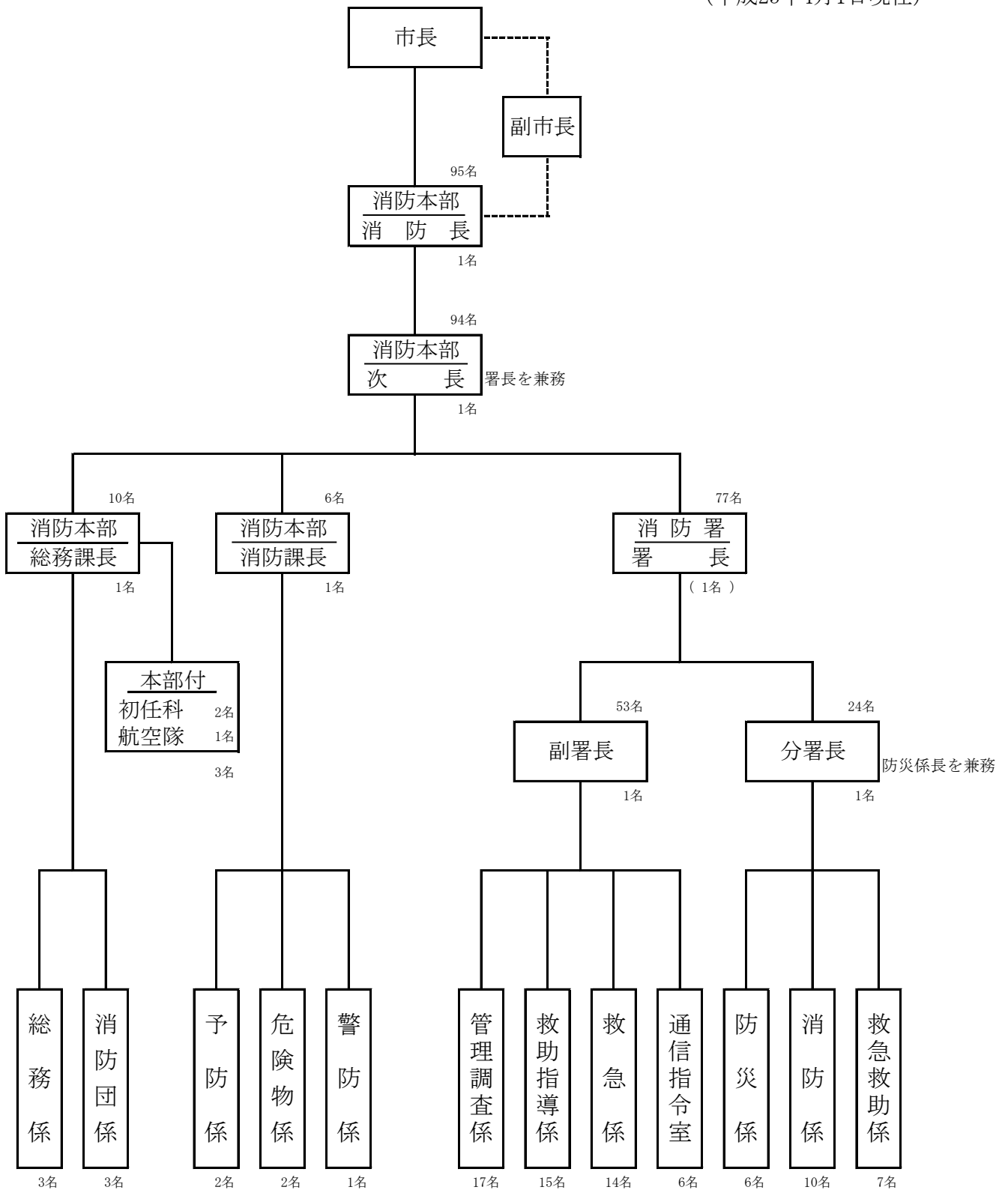
平成23年	2月	本署化学車更新（災害対応特殊化学ポンプ自動車Ⅱ型）
平成24年	2月	本署消防3号車（ポンプ車）更新
平成25年	2月	資機材搬送車（国より寄贈される）
	3月	本署消防1号車更新（水槽付消防ポンプ自動車）
	3月	分署消防2号車更新（ポンプ車）

総務



組織・構成

(平成25年4月1日現在)



事務分掌

本部・総務課

総務係	<ol style="list-style-type: none">1 文書の收受、編さん保存及び公印の管守に関する事。2 規則等の制定及び改廃に関する事。3 消防吏員の階級、服務及び規律等人事に関する事。4 消防吏員の賞じゅつ金に関する事。5 常備消防予算の執行及び会計事務に関する事。6 消防職員の給与等に関する事。7 消防職員の衛生管理に関する事。8 消防吏員の給与品及び貸与品に関する事。9 出張等に関する事。10 消防庁舎及び備品の管理に関する事。11 消防表彰に関する事。12 消防職員委員会に関する事。13 消防の総合的企画及び調整に関する事。14 本部に属する公文書の公開並びに個人情報の開示、訂正及び利用停止等に関する事。15 他の主管に属さない事。
消防団係	<ol style="list-style-type: none">1 非常備消防予算の執行及び会計事務に関する事。2 非常備消防施設及び装備に関する事。3 消防団員の任免及び懲罰に関する事。4 消防団員の福利厚生に関する事。5 消防団員の公務災害補償に関する事。6 消防団員の退職報償金に関する事。7 大分県消防協会中津支部に関する事。8 消防水利に関する事。9 その他消防団に関する事。

本部・消防課

予防係	<ol style="list-style-type: none">1 予防査察に関する事。2 防火管理に関する事。3 建築等の消防同意に関する事。4 消防用設備等の指導及び検査に関する事。5 防火対象物定期点検報告制度に関する事。6 中津市火災予防条例に関する事（危険物及び警防に関するものを除く。）。7 その他火災予防に関する事。
危険物係	<ol style="list-style-type: none">1 予防査察に関する事。2 危険物の規制に関する事。3 液化石油ガス等の届出に関する事。4 少量危険物、指定可燃物に関する事。5 中津市危険物安全協会に関する事。6 中津市火災予防条例に関する事（危険物に関するものに限る。）。7 火薬類の消費等の許可に関する事。8 ガス用品の適合表示に関する事。9 その他危険物に関する事。
警防係	<ol style="list-style-type: none">1 消防計画に関する事。2 消防年報の編さんに関する事。3 防火思想の普及、広報に関する事。4 消防通信の企画に関する事。5 中津市火災予防条例に関する事（警防に関するものに限る。）。6 相互応援に関する事。7 開発行為の協議に関する事。8 消防施設及び機械器具の整備に関する事。9 その他警防に関する事。

消防署（本署）

<p>管理調査係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関すること。 2 救急及び救助業務に関すること。 3 消防署内事務の連絡調整に関すること。 4 消防署職員の勤務編成に関すること。 5 消防署の公印の管守に関すること。 6 警防調査に関すること。 7 火災原因及び損害の調査に関すること。 8 罹災証明に関すること。 9 消防施設及び機器の管理に関すること。 10 消防地理及び水利に関すること。 11 消防通信に関すること。 12 その他消防署の管理調査に関すること。
<p>救助指導係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関すること。 2 救急及び救助業務に関すること。 3 救助統計に関すること。 4 消防署職員の教養訓練に関すること。 5 非常備消防、自主防災組織等の育成指導等に関すること。 6 演習、消防訓練の指導及び防火教育に関すること。 7 救助及び潜水訓練の安全管理に関すること。 8 救命索発射銃の保安管理に関すること。 9 消防機器及び救助資器材の管理及び研究開発に関すること。 10 消防通信に関すること。 11 その他消防、救助資機材及び訓練指導に関すること。
<p>救急係</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関すること。 2 救急及び救助業務に関すること。 3 救急統計に関すること。 4 救命講習に関すること。 5 救急搬送証明に関すること。 6 救急業務高度化推進計画及び運用に関すること。 7 救急資器材の管理及び研究開発に関すること。 8 消防通信に関すること。 9 その他救急に関すること。

通信指令室	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 災害出動指令に関する事。 4 消防通信の運用及び管理に関する事。 5 災害時における関係機関への連絡に関する事。 6 非番員の招集に関する事。 7 気象特報水火災警報等に関する事。 8 気象観測に関する事。 9 その他消防通信に関する事。
-------	--

消防署（分署）

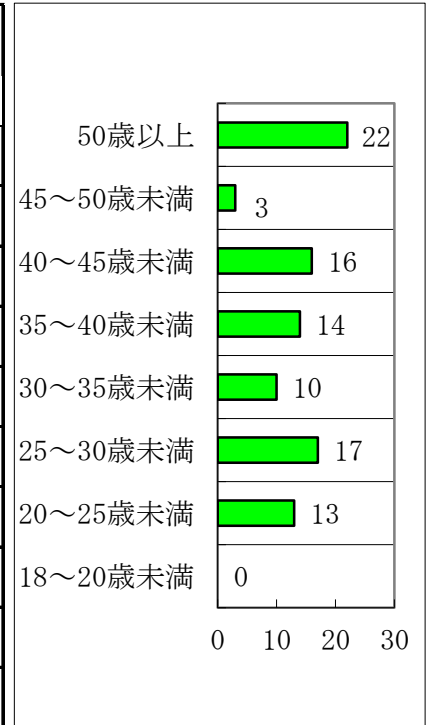
防災係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 分署員の服務、規律及び教養に関する事。 4 分署員の勤務の編成に関する事。 5 各種届出の收受及び文書に関する事。 6 通信及び気象に関する事。 7 庁舎及び施設の管理に関する事。
消防係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 消防訓練の指導及び演習に関する事。 4 防火思想の普及及び広報に関する事。 5 非常備消防、自主防災組織等の育成指導に関する事。 6 消防地利及び水利に関する事。 7 火災原因及び損害の調査に関する事。 8 消防資器材の整備及び管理に関する事。 9 その他災害対策に関する事。
救急救助係	<ol style="list-style-type: none"> 1 水火災等の警戒防御及び鎮圧に関する事。 2 救急及び救助業務に関する事。 3 救急及び救助統計に関する事。 4 救急及び救助資器材の管理に関する事。 5 救命講習に関する事。 6 その他救急救助業務に関する事。

人事関係

職員年齢構成表

H25. 4. 1

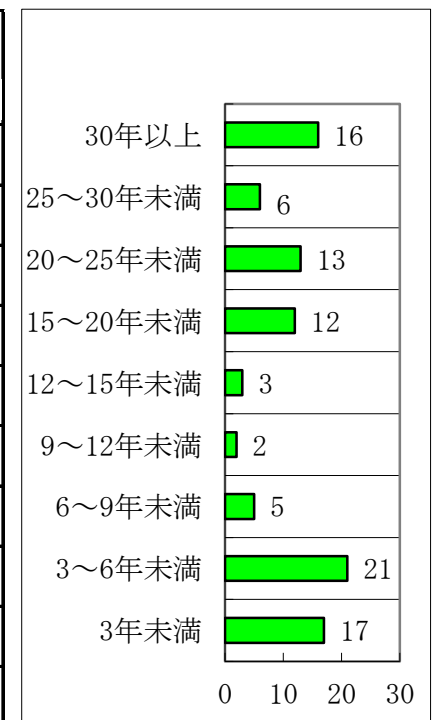
階級 年齢	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計	比較 (%)
50歳以上	1	5	11	3			2	22	23.2%
45～50歳未満				3				3	3.2%
40～45歳未満				15			1	16	16.8%
35～40歳未満				4	10			14	14.7%
30～35歳未満					4	6		10	10.5%
25～30歳未満						17		17	17.9%
20～25歳未満						13		13	13.7%
18～20歳未満									0.0%
計	1	5	11	25	14	36	3	95	100%
全職員の平均年齢 37.9歳									



職員勤続年数

H25. 4. 1

階級 年数	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計	比較 (%)
30年以上		4	10	2				16	16.8%
25～30年未満				6				6	6.3%
20～25年未満				13				13	13.7%
15～20年未満				4	8			12	12.6%
12～15年未満					3			3	3.2%
9～12年未満					2			2	2.1%
6～9年未満	1				1	3		5	5.3%
3～6年未満			1			19	1	21	22.1%
3年未満		1				14	2	17	17.9%
計	1	5	11	25	14	36	3	95	100%



職員の配置状況

(平成25年4月1日現在)

階級別 区分	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 職 員	計
消 防 本 部	1	3	5	1	3	2	3	18
消 防 署 (本 署)	0	1	4	14	8	26	0	53
消 防 署 (分 署)	0	1	2	10	3	8	0	24
計	1	5	11	25	14	36	3	95

予 算 関 係

予算額と世帯、人口当たりの額（当初予算（歳出））

（単位：円）

費用 年度	予 算 額	世帯数 (戸)	1世帯あた り (円)	人口 (人)	1人あたり (円)
平成24年度	963,087,000	37,258	28,451	85,784	12,357
平成25年度	1,060,023,000	37,437	28,315	85,522	12,395

※ 世帯数、人口は各年度の4月1日現在の数。

消防費予算（当初予算（歳出））

（単位：千円）

款	項	平成24年度	平成25年度
消 防 費	常 備 消 防 費	757,249	865,479
	非 常 備 消 防 費	205,838	194,544
歳 出 合 計		963,087	1,060,023

（単位：千円）

一般会計予算との割合	一般会計予算	消防費	割合
	38,761,323	963,087	2.48%

職員の各種資格免許取得状況

H25. 4. 1

区 分		階 級		司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	計	
		実 数		1	5	11	25	14	36	3	95	
自 動 車 関 係	大 型 自 動 車			4	9	21	13	12	1		60	
	中型自動車	11 t 未満					1	2			3	
		8 t 限定	1	1	2	4		10	2		20	
	普通自動車								12			12
	自 動 二 輪			1	7	8	6	14	1			37
救 急	救 急 救 命 士				1	9	4	4			18	
	救 急 I 課 程				1						1	
	救 急 II 課 程			4	8	4					16	
	救 急 標 準 課 程					7	3				10	
	救 急 科					5	7	7			19	
	応 急 手 当 指 導 員			4	9	25	14	11			63	
無 線	特 殊 無 線 技 師			4	10	25	14	34			87	
	ア マ チ ュ ア 無 線 技 師			2	3	5					10	
危 険 物	危 険 物 取 扱 者 免 許 甲 種										0	
	危 険 物 取 扱 者 免 許 乙 種			1	5	2	6	7			21	
	危 険 物 取 扱 者 免 許 丙 種			2	2						4	
設 備 士	消 防 設 備 士 甲 種				2		1	1			4	
	消 防 設 備 士 乙 種			1	2		2				5	
救 助	免 許	潜 水 士		2	2	13	6	9			32	
		小 型 船 舶 操 縦 士				5	9	7	2	1		24
	技 能 講 習	玉 掛 け				4	11	11	9			35
		小 型 移 動 ク レ ー ン				4	7	11	9			31
	特 別 教 育	チ ェ ー ン ソ ー				4	9	10	4			27
		巻 き 上 げ				5	14	14	16			49
		酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任				5	12	2				19
	入 校	救 助 科				4	13	10	2			29
梯 子 科				4	12	6	1			23		
専 門 員	消 防 用 設 備 等 専 門 員				2	1					3	
	防 火 査 察 専 門 員				3	3	1				7	
	危 険 物 専 門 員				2	2	1				5	

予 防



管内地域別防火対象物の現況

H25.3.31

対 象 物 の 種 類		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	合計
1	イ 劇場・映画館等	4	1				5
	ロ 公会堂・集会場	50	6	8	12	4	80
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等						
	ロ 遊技場・ダンスホール	15	1			1	17
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等						
	ニ カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4					4
3	イ 待合・料理店	7			3		10
	ロ 飲食店	66	3	11	6	3	89
4	百貨店・マーケット	154	2	2	3	2	163
5	イ 旅館・ホテル、その他これらに類するもの	20	2	1	5	1	29
	ロ 寄宿舎・共同住宅	800	1	2			803
6	イ 病院・診療所	70	3		4	2	79
	ロ 老人短期入所施設等	22	9	2	1	2	36
	ハ 老人デイサービスセンター等	54	7	3	9	4	77
	ニ 幼稚園・特別支援学校	14	1				15
7	小中学校等各種学校	94	14	7	18	4	137
8	図書館・博物館・美術館	8		1	2		11
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ 公衆浴場	5	1		1	1	8
10	車両の停車場等						
11	神社・寺院・教会	46		4	2		52
12	イ 工場・作業場	365	43	18	35	16	477
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	34	1	1		1	37
	ロ 飛行機等の格納庫						
14	倉庫	330	26	9	20	7	392
15	前各項に該当しない事業場	293	16	13	56	8	386
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	135	3	3	2	3	146
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	77	1	2		1	81
16の2	地下街						
16の3	準地下街						
17	重要文化財	2				1	3
18	アーケード (50m以上)	2					2
19	市町村長の指定する山林						
20	自治省令で定める舟車						
合 計		2,671	141	87	179	61	3,139

消防用設備等点検結果報告書の届出が必要な対象物

H25.3.31

対 象 物 の 種 類		対 象 物 数			
		1, 000㎡	1, 000㎡	総 数	
		未 満	以 上		
1	イ	劇場・映画館等	4	1	5
	ロ	公会堂・集会場	72	8	80
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	15	17
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	3	1	4
3	イ	待合・料理店	7	3	10
	ロ	飲食店	88	1	89
4		百貨店・マーケット	126	37	163
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの	19	10	29
	ロ	寄宿舎・共同住宅	714	89	803
6	イ	病院・診療所	61	18	79
	ロ	老人短期入所施設等	16	20	36
	ハ	老人デイサービスセンター等	71	6	77
	ニ	幼稚園・特別支援学校	15		15
7		小中学校等各種学校	59	73	132
8		図書館・博物館・美術館	10	1	11
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	公衆浴場	7	1	8
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会	37	5	42
12	イ	工場・作業場	354	123	477
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	31	6	37
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	345	47	392
15		前各項に該当しない事業場	188	74	262
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	94	25	119
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	36	5	41
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財	3		3
18		アーケード（50m以上）	1	1	2
19		市町村長の指定する山林			
合 計			2, 363	570	2, 933

消防同意件数（計画変更を含む）

平成25年3月31日

対象物の種類			新築	増築	改築	移転	用途変更	修繕	模様替	合計
1	イ	劇場・映画館等	3							3
	ロ	公会堂・集会場	3							3
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等								
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲食店	3				1			4
4		百貨店・マーケット	13		1					14
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの								
	ロ	寄宿舎・共同住宅	24							24
6	イ	病院・診療所	2	2						4
	ロ	老人短期入所施設等	1	2						3
	ハ	老人デイサービスセンター等	10	1			1			12
	ニ	幼稚園・特別支援学校								
7		小中学校等各種学校	2	1						3
8		図書館・博物館・美術館								
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ	公衆浴場								
10		車両の停車場等								
11		神社・寺院・教会	4							4
12	イ	工場・作業場	11	2						13
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場	6			1				7
	ロ	飛行機等の格納庫								
14		倉庫	11	2			1			14
15		前各項に該当しない事業場	15	1						16
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	1	2			1			4
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	1							1
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		重要文化財								
18		アーケード（50m以上）								
19		市町村長の指定する山林								
合 計			110	13	1	1	3	1		129

中高層建築物

H25. 3. 31

対象物の種類		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階以上	計
1	イ 劇場・映画館等								
	ロ 公会堂・集会場		1						1
2	イ キャバレー・ナイトクラブ等								
	ロ 遊技場・ダンスホール			1					1
	ハ 性風俗関連特殊営業を含む店舗等								
	一 カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等			1					1
3	イ 待合・料理店		1						1
	ロ 飲食店	1							1
4	百貨店・マーケット	3	1						4
5	イ 旅館・ホテルその他これらに類するもの		1					5	6
	ロ 寄宿舎・共同住宅	40	10	7	11	5	2	14	89
6	イ 病院・診療所	4	5						9
	ロ 老人短期入所施設等	1	3						4
	ハ 老人デイサービスセンター等	1							1
	二 幼稚園・特別支援学校								
7	小中学校等各種学校	8							8
8	図書館・博物館・美術館	1							1
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場								
	ロ 公衆浴場								
10	車両の停車場等								
11	神社・寺院・教会								
12	イ 工場・作業場								
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ								
13	イ 自動車車庫・駐車場								
	ロ 飛行機等の格納庫								
14	倉庫								
15	前各項に該当しない事業場	12	2	4					18
16	イ 1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	10	6	3	5	2		1	27
	ロ 上記以外の複合用途防火対象物	4			2			1	7
合 計		85	30	16	18	7	2	21	179

防火管理者選任を要する対象物

H25.3.31

対 象 物 の 種 類		甲種防火管理者を選任しなければならない対象物	乙種防火管理者を選任しなければならない対象物	計	
1	イ	劇場・映画館等	3	2	5
	ロ	公会堂・集会場	43	30	73
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	17		17
	ハ	性風俗関連特殊営業を含む店舗等			
	ニ	カラオケボックス等個室において業務を営む店舗等	4		4
3	イ	待合・料理店	8	1	9
	ロ	飲食店	35	34	69
4		百貨店・マーケット	90	14	104
5	イ	旅館・ホテルその他これらに類するもの	19	1	20
	ロ	寄宿舎・共同住宅	60		60
6	イ	病院・診療所	31	2	33
	ロ	老人短期入所施設等	35	1	36
	ハ	老人デイサービスセンター等	38	7	45
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	2	14
7		小中学校等各種学校	37	1	38
8		図書館・博物館・美術館	4	4	8
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	公衆浴場	4		4
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会	13	8	21
12	イ	工場・作業場	49	2	51
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場		1	1
	ロ	飛行機等の格納庫			
14		倉庫	4	1	5
15		前各項に該当しない事業場	40	7	47
16	イ	1項～4項、5項イ、6項、9項イを含む複合用途防火対象物	54	7	61
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	7		7
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財		1	1
18		アーケード（50m以上）			
19		市町村長の指定する山林			
合 計			607	126	733

各種届出事務処理状況

平成25年3月31日

	種 別	届 出 数
火を使用する設備等の設置の届出	ボイラー等設置届出	18
	変電設備設置届出	11
	発電設備設置届出	11
	蓄電池設備設置届出	9
	ネオン管灯設備設置届出	
火災とまぎらわしい行為等の届出	火災とまぎらわしい煙の届出	77
	煙火打上届出	41
	催物開催届出	1
指定数量未満の危険物等の貯蔵取扱の届出	少量危険物貯蔵取扱の届出	18
	指定可燃物貯蔵取扱の届出	4
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱の届出	液化石油ガス	26
	毒物・劇物の届出	

消防用設備等届出状況	消 防 用 設 備 等 の 種 類	着工届	設置届	消防検査
	警報設備	非常警報設備		11
自動火災報知設備		47	71	76
ガス漏れ警報設備				
消防機関へ通報する火災報知設備		7	9	9
漏電火災警報設備				
消火設備	屋内消火栓設備	3	3	3
	スプリンクラー設備	7	9	10
	水噴霧消火設備			
	泡消火設備			
	二酸化炭素消火設備			
	ハロゲン化物消火設備			
	粉末消火設備	1	1	1
	屋外消火栓設備	2	2	3
	パッケージ型消火設備			
	パッケージ型自動消火設備			
	動力消防ポンプ設備			
避難設備	誘導灯		40	42
	避難器具	3	5	6
消火活動上必要な施設等	消防用水		1	1
	排煙設備			
	連結散水設備			
	連結送水管		2	2
	非常コンセント設備		1	1
計		70	155	166

住宅用火災警報器設置率の推移

第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平成22年3月	平成22年10月	平成23年3月	平成23年5月	平成23年11月
42.07%	50.50%	59.70%	71.80%	78.40%

第6回目
平成24年5月
81.00%

※ 調査方法

大型商業施設におけるアンケート調査。
但し、第1回目の調査方法は全戸調査。

火事だ!! 逃げろ!!



危険物



危険物製造所等の施設数

H25/3/31現在

区分		地域					計
		中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	
製造所	製造所	1					1
	製造所 小計	1					1
貯蔵所	屋内貯蔵所	27	4		1		32
	屋外タンク貯蔵所	38	2		1	1	42
	屋内タンク貯蔵所	3					3
	地下タンク貯蔵所	30	6		5	3	44
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	18	2	2	1	1	24
	屋外貯蔵所	4					4
	貯蔵所 小計	120	14	2	8	5	149
取扱所	給油取扱所	46	7	5	4	3	65
	一般取扱所	39	3	1		1	44
	取扱所 小計	85	10	6	4	4	109
合計		206	24	8	12	9	259

危険物事務処理状況 (許可又は検査の数)

H24/4/1~H25/3/31

区		製造所		貯蔵所						取扱所			合計			
		製造所	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所		一般取扱所	小計	
許可	設置許可						1				1	1	3	4	5	
	変更許可	5	5		2		1		3		6	6	5	11	22	
	移動タンク	転出														
		転入							1		1					1
完成	設置完成						1				1	1	2	3	4	
	変更完成	5	5		2		1		3		6	6	5	11	22	
	移動タンク								1		1				1	
廃止届					1	1	6		6	1	15	3	1	4	19	
仮使用		5	5									4	5	9	14	
保安監督者		選任届			1	4		1			6	8	2	10	16	
		解任届				3	1	1			1	6	6		6	12

タンク検査申請							仮貯蔵・仮取扱
合計	水圧検査	小計	600ℓ以下	600ℓ~10kℓ	10kℓ~20kℓ	20kℓを超える	仮貯蔵
144	件数	137	36	95	6	0	0
	水張検査	小計	10kℓ以下	10kℓ~1000kℓ	1000kℓ~2000kℓ	2000kℓを超える	仮取扱
	件数	7	6	1	0	0	0

消 防 団



方面団別消防団員実員状況

H25. 4. 1

	団長	方面団長	方面副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本 部	1								1
第1方面団 (中津地域)		1	2	13	13	13	39	213	294
第2方面団 (三光地域)		1	3 (1)	19 (5)	14	14	42	195	288
第3方面団 (本耶馬溪地域)		1	2	19 (3)	16	16	48	90	192
第4方面団 (耶馬溪地域)		1	2	21 (6)	15	15	45	123	222
第5方面団 (山国地域)		1	2	19 (4)	15	15	45	101	198
計	1	5	11 (1)	91 (18)	73	73	219	722	1,195

※ () 内数は、専任指導員の数

方面団別及び年齢別消防団員数

H25. 4. 1

	20歳以下	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56歳以上	計
本 部									1	1
第1方面団 (中津地域)	3	18	25	56	57	49	43	21	22	294
第2方面団 (三光地域)	1	1	17	33	45	37	50	62	42	288
第3方面団 (本耶馬溪地域)	2	8	11	19	22	24	44	41	21	192
第4方面団 (耶馬溪地域)	1	6	13	25	33	36	36	42	30	222
第5方面団 (山国地域)	2	7	18	29	25	24	33	36	24	198
計	9	40	84	162	182	170	206	202	140	1,195

方面団別消防機械の配置状況

H25. 4. 1

区分 方面団名	消防ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ積載車	計
第1方面団 (中津地域)	13		13
第2方面団 (三光地域)		15	15
第3方面団 (本耶馬溪地域)		17	17
第4方面団 (耶馬溪地域)	1	14	15
第5方面団 (山国地域)		16	16
計	14	62	76



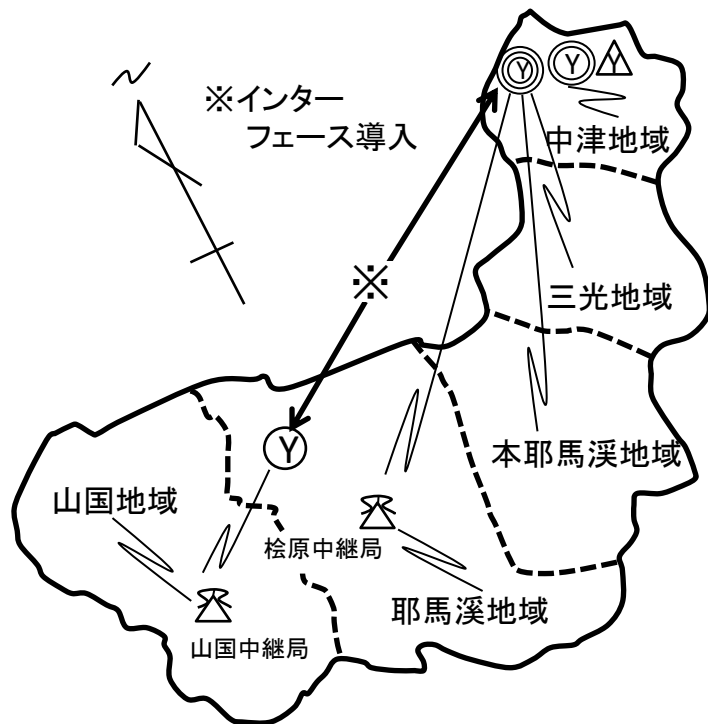
通信指令



通信指令室概要

消防通信は、「消防・救急部隊の運用は通信に始まり通信に終わる」といっても過言でないほど消防業務遂行上重要な役割をはたしています。119番受付から現場活動、災害事案の終了までを迅速かつ的確に行い、救急サービスの向上、災害による被害の軽減に大いに効果を発揮してきたところです。今後とも、複雑多様化する災害に対処して、地域住民が安心して暮らせる町づくりに貢献できる様、通信指令室の整備拡充に努めて参る所存です。

凡	例
	消 防 本 部
	消 防 署
	分 署
	消 防 団 本 部
	消 防 無 線
	無 線 中 継 局
	N T T 回 線
	管 界
	地 域 界



※ 消防中津（本署）－消防耶馬溪（分署）間にインターフェースを導入（N T T回線を利用）

通信施設

H25. 4. 1

種 別 配置場所	消 防 有 線 等								消 防 無 線			
	1 1 9 番専用回線			一 般 加 入 電 話	携 帯 電 話	庁 内 電 話	フ ァ ッ ク ス	テ レ ド ー ム	固 定 局	基 地 局	移 動 局 10w	移 動 局 1w
	ア ナ ロ グ	携 帯 電 話	I P 電 話									
消 防 本 部 ・ 署	13	4	6	8	5	30	5	1	1	1	15	16
耶 馬 溪 分 署				3	2	5	1		(1)	1	5	4
分 団 (中 津 市)												16
桧 原 中 継 局									1	1		
山 国 中 継 局									1	1		
計	13	4	6	11	7	35	6	1	4	4	20	36

※ (1) は第 2 通 信 所 が 中 津 消 防 本 部 内 あり、N T T 回 線 を 利 用

無線局一覧表

呼出名称	無線局の種別	免許番号	免許年月日	装 備 波	備 考
しょうぼうなかつ	基地局	九 基 第 5 6 2 0 号	H23. 6. 1	1 5 3 . 7 1 MHz	市町村波
				1 5 0 . 7 3 MHz	全国波
				1 4 9 . 6 9 MHz	県内波
				1 4 7 . 7 4 MHz	救急波
しょうぼうなかつ	固定局	九 基 第 4 2 9 0 2 号	H24. 12. 1	1 4 9 . 6 3 MHz	中津本署－桧原
				1 5 0 . 7 3 MHz	全国波
しょうぼうやばけい	基地局	九 基 第 5 6 2 1 号	H23. 6. 1	1 5 3 . 7 1 MHz	市町村波
しょうぼうやばけい	固定局	九 基 第 4 2 9 0 4 号	H24. 12. 1	1 5 4 . 3 1 MHz	耶馬溪分署－山国
しょうぼうひばる	基地局	九 基 第 5 9 5 5 号	H23. 6. 1	1 5 3 . 7 1 MHz	市町村波
しょうぼうひばる	固定局	九 基 第 4 2 9 0 3 号	H24. 12. 1	1 4 9 . 6 3 MHz	桧原－中津本署
しょうぼうやまぐに	基地局	九 基 第 5 9 6 8 号	H23. 6. 1	1 5 3 . 7 1 MHz	市町村波
しょうぼうやまぐに	固定局	九 基 第 4 3 0 0 6 号	H24. 12. 1	1 5 4 . 3 1 MHz	山国－耶馬溪分署

〈 平成24年 119通報受信件数 〉

内 容	119番												119番 以外							合 計
	火 災	救 急	警 戒	問 合	いたずら	無 応 答	試 験	そ の 他	小 計	携 帯 電 話	I P 電 話	小 計	一 般	警 直	駆 込 み	自 己 覚 知	緊 急 シ ス テ ム 通 報	そ の 他	小 計	
1月	3	221	1	22	8	8	25	57	345	74	27	101	86	16	1		2		105	450
2月	4	188	3	27	7	8	27	59	323	52	36	88	58	19			6		83	406
3月	1	210	3	32	0	3	55	46	350	72	23	95	61	14	1		8		84	434
4月	9	223	1	18	1	7	38	57	354	53	43	96	71	17			5	4	97	451
5月	6	221		33		6	38	47	351	66	32	98	61	10	3		10	1	85	436
6月	5	194	2	34	2	7	34	33	311	61	27	88	62	16	1		1	3	83	394
7月	2	244	7	50		6	29	111	449	97	37	134	83	13		4	4	2	106	555
8月	7	244	1	41	2	10	28	70	403	81	40	121	60	16	3		3		82	485
9月	5	179	2	37		6	35	62	326	78	30	108	71	10	1		9		91	417
10月	3	243	1	34	2	14	37	48	382	70	43	113	74	17	2		7		100	482
11月	1	223	2	32	2	6	28	55	349	69	41	110	71	14			5		90	439
12月	2	201	2	26	7	6	38	60	342	63	36	99	64	17		1	4		86	428
合計	48	2,591	25	386	31	87	412	705	4,285	836	415	1,251	822	179	12	5	64	10	1,092	5,377

平成24年 緊急通報システムの受信状況等

このシステムは、自動的に消防署へ通報することができる機能を持った電話機を、利用者宅に設置したもので、管内に居住する65歳以上の一人暮らしの老人を中心に1050箇所を設置し、高齢者の精神的不安の解消に努めています。

独居老人緊急通報システム受信内容

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災													0
救急	4	7	7	4	13	1	5	3	9	9	6	7	75
試験	38	31	17	6	4	11	41	27	32	39	25	30	301
間違い	21	16	20	13	10	15	23	14	23	24	16	16	211
相談	3	2	2		2	1	2	4	2	4	2		24
電池切れ	52	38	26	39	22	19	77	30	20	23	46	48	440
停電	48	37	36	37	32	23	168	71	50	32	37	54	625
その他	1	5	1	1			8				1	1	18
合計	167	136	109	100	83	70	324	149	136	131	133	156	1,694

地域別受信件数

区分 \ 地域別	中津地域	三光地域	本耶馬溪地域	耶馬溪地域	山国地域	計
火災						0
救急	62	1	1	9	2	75
試験	250	2	25	24		301
間違い	146	6	6	37	16	211
相談	19	1	3		1	24
電池切れ	272	6	59	71	32	440
停電	497	11	33	59	25	625
その他	5	1	1	8	3	18
合計	1,251	28	128	208	79	1,694

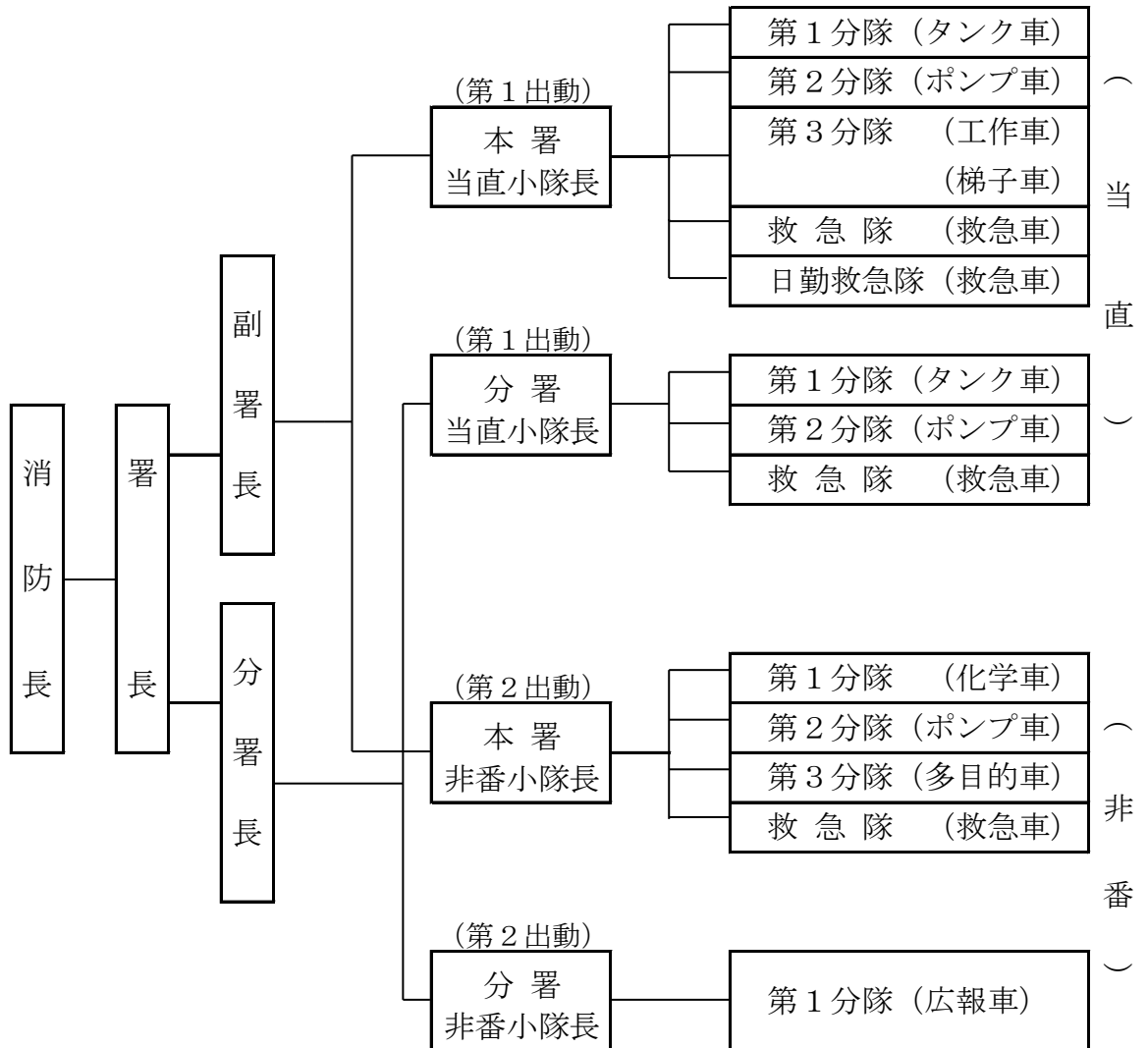
※ 電池切れ……………電話機のコンセントのはずれ、台風や落雷等で停電したときに発信する

※ 間違い……………操作ミスによる発信又は子供のいたずら

火災・管理・調査



出動区分表



年次別火災統計

区分 年	火災件数					焼損棟数					建物火災			林野火災		車両火災		船舶	その他	損害額	死者 (人)		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	面 積 (㎡)	損害額		面 積 (a)	損 害 額 (千円)	台 数 (台)	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	損 害 額 (千円)	合 計 (千円)			
												建 物 (千円)	収 容 物 (千円)									計 (千円)	
平成10年	8				8	5		3	4	12	447	34,102	2,667	36,769						36,769	5		
平成11年	21	1	4		1	27	14	5	8	2	29	2,139	101,945	15,196	117,141	20	300	5	355		117,796	1	
平成12年	16	1	2		1	20	12		7	1	20	1,270	36,168	20,899	57,067	28	2,000	2	270	90	59,427		
平成13年	17	1	7			25	13	3	6		22	1,286	57,416	11,215	68,631	23	500	7	2,149		71,280	3	
平成14年	14	3			2	19	9	1	6	1	17	1,292	44,065	6,190	50,255	24	575				50,830	4	
平成15年	13	1	6	1	6	27	6	1	5	3	15	657	25,472	8,566	34,038	10	3	9	1,595	681	468	36,785	3
平成16年	26	6	7		7	46	11	4	13	11	39	4,490	172,056	61,388	233,444	1,843	2,711	9	2,798		480	239,433	3
平成17年	28	6	6	1	20	61	14		13	12	39	2,125.4	57,360	31,048	88,408	18.9	147	6	810	2	30	89,397	2
平成18年	32	2	4		16	54	10	2	6	17	35	1,302.1	51,541	39,520	91,061	3.4		7	1,277		349	92,687	1
平成19年	31	4	4		14	53	11	2	12	15	40	2,350.9	101,344	75,873	177,217	35.8	157	6	224		106	177,704	1
平成20年	21	3	5		22	51	5	2	6	13	26	804.2	45,496	7,792	53,288	30.0	16	5	330		165	53,799	2
平成21年	26	4	3		12	45	8	2	2	20	32	1,368.0	75,362	10,184	85,546	1,016.0	4,296	4	157		2	90,001	
平成22年	18	8	1		15	42	9	3	10	7	29	1,105.9	32,635	11,269	43,904	48.5		2	65			43,969	2
平成23年	24	14	2		12	53	9	9	7	11	36	2,268.1	319,321	50,460	370,016	666.2	2,094	2	142		16	372,268	1
平成24年	20	6			13	39	10	4	8	10	32	1,952.2	37,914	17,591	55,505	30.1	76				156	55,737	

月別火災発生件数

月	地 域					件数	焼損面積			損 害 額 (千円)
	中 津 地 域	三 光 地 域	本 耶 馬 溪 地 域	耶 馬 溪 地 域	山 国 地 域		建物 (m ²)		林 野 (a)	
							床 面 積	表 面 積		
1月	2		1			3	137.0		0.6	3,989
2月	2	3				5	185.8	163.4	0.2	8,231
3月	1					1				
4月	2		2	1	1	6	1263.9	17.6	2.4	33,056
5月	2	1		1		4	165.0	20.6	23.2	2,689
6月	3	1				4			3.7	
7月	1			1		2		4.2		426
8月	4					4	146.5			4,457
9月	5					5	5.2	0.9		1,163
10月	3					3	0.8			89
11月	1					1				
12月	1					1	48.0			1,637
計	27	5	3	3	1	39	1,952.2	206.6	30.1	55,737

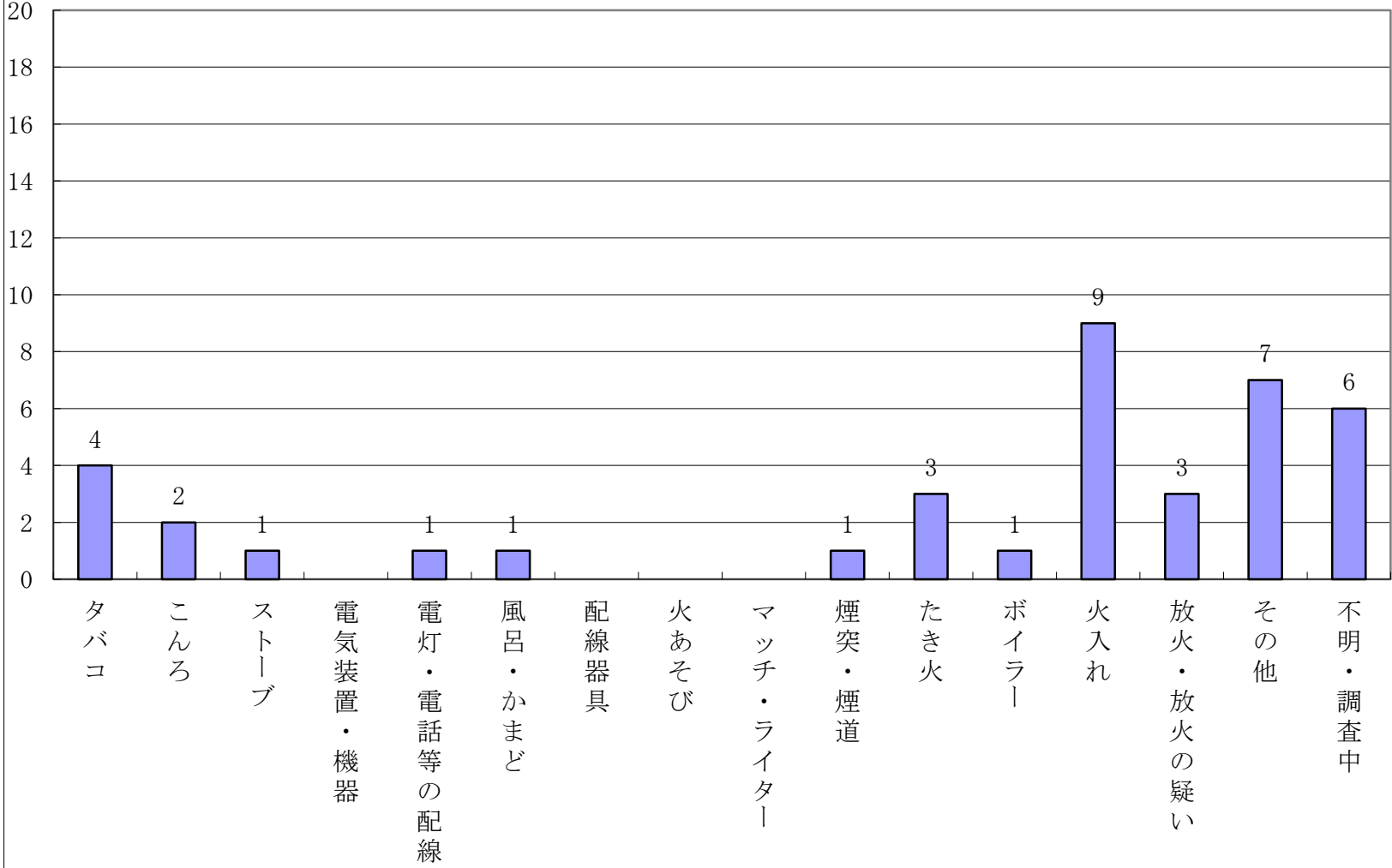
地域別の火災発生状況及び被災状況

区分 地域	火災種別						焼損棟数					焼損程度				罹災人員	死傷者	
	建物	林野	車両	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計		死者	負傷者
中津地域	13	3			11	27		3	4	6	12	2	1	3	6	17		1
三光地域	3	1			1	5	2		1	1	4	1			1	2		
本耶馬溪地域	1	1			1	3	1			1	1				1	1		
耶馬溪地域	2	1				3	1		1	2								
山国地域	1					1	6	1	2	4	13	4		4	8	21		
計	20	6			13	39	10	4	8	11	32	8	1	7	16	41		1

区分 地域	建 物					林 野		車 両		爆 発		その他	合計損害額 (千円)
	面積 (㎡)		損害額(千円)		計 (千円)	面積 (a)	損害額 (千円)	台数 (台)	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	損害額 (千円)	
	床面積	表面積	建 物	収容物									
中津地域	239.8	0.9	7,314	1,951	9,265	6.8						156	9,420.5
三光地域	316.2	183.9	4,954	5,190	10,144	0.2							10,144.0
本耶馬溪地域	132.2		2,815	10	2,825	2.4							2,838.0
耶馬溪地域	33.6	4.2	160	380	540	22	13						603.4
山国地域	1,230.3	17.6	22,671	10,060	32,731		63						32,730.9
計	1,952.1	206.6	37,914	17,591	55,505	31.4	76					156	55,736.8

出火原因

全 39 件



時間帯別出火件数

時間帯	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0-2	2									2			
2-4	2				1							1	
4-6	1				1								
6-8	3	1									1		1
8-10	2	1			1								
10-12	7		1		1	1	1		1	1	1		
12-14	8		1		1	3	1	1			1		
14-16	4	1			1		2						
16-18	2							1	1				
18-20	6		3						2	1			
20-22													
22-24	2			1						1			
	39	3	5	1	6	4	4	2	4	5	3	1	1

曜日別出火件数

曜日	件数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日	5				2	2			1				
月	5				2			1		1	1		
火	6	1	1		1	1				2			
水	4		1				1				2		
木	5						2			1		1	1
金	9	2	2	1			1	1	2				
土	5		1		1	1			1	1			
	39	3	5	1	6	4	4	2	4	5	3	1	1

消防水利の現有状況

H25. 4. 1

区分		地域	中津地域	三光地域	本耶馬溪 地域	耶馬溪 地域	山国地域	合計	
消 火 栓	公 設		965	19				984	
	私 設		13					13	
	計		978	19				997	
防 火 水 槽	公 設	20m ³ ~40m ³	1			16		17	
		40m ³ 以上	115	111	99	93	64	482	
		計	116	111	99	109	64	499	
	私 設	20m ³ ~40m ³							
		40m ³ 以上	4					4	
		計	4					4	
の そ 水 の 利 他	河 川 (池)	1		8	14		23		
	プ ー ル	18	5	3	4	2	32		



相互応援協定締結状況

H25. 4. 1

協定名称	締結市町村名等	締結の状況	締結年月日
大分県常備消防相互応援協定	大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	昭和51年 3月31日 (平成24年3月30日改正)
大分県防災ヘリコプター応援協定	大分県・大分県下14消防本部	火災・救急・救助・ その他災害について	平成 9年 6月 1日
大分海上保安部と中津市消防本部との船舶火災に関する業務協定	大分海上保安部	船舶火災について	平成17年 3月 1日
大分県内におけるドクターヘリの運航に係る協定	大分県、福岡県	救急について	平成18年 4月 1日
福岡県田川地区消防組合、中津市消防相互応援協定	福岡県田川地区消防組合	火災・救急・救助・ その他災害について	平成19年 12月 1日
中津市、上毛町消防相互応援協定	上毛町（福岡県）	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 6月10日
中津市、吉富町消防相互応援協定	吉富町（福岡県）	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日
京築広域市町村圏事務組合、中津市消防相互応援協定	京築広域市町村圏事務組合 (福岡県)	火災・救急・救助・ その他災害について	平成20年 7月 1日

救助・指導



救助概要

平成24年中の救助出動件数は50件で、交通事故が29件と最も多く全体の約60%をしめており、ついでその他の事故9件（約20%）となっています。また救助人員については、33名です。

救助活動に従事する隊員には強靱な体力、不屈の精神力と合わせて災害現場において救助資機材を有効に活用するための高度な技術や知識が要求されます。そのため救助隊員は、日夜たゆまぬ努力と厳しい訓練をくり返し、住民の生命身体の安全確保に努めています。

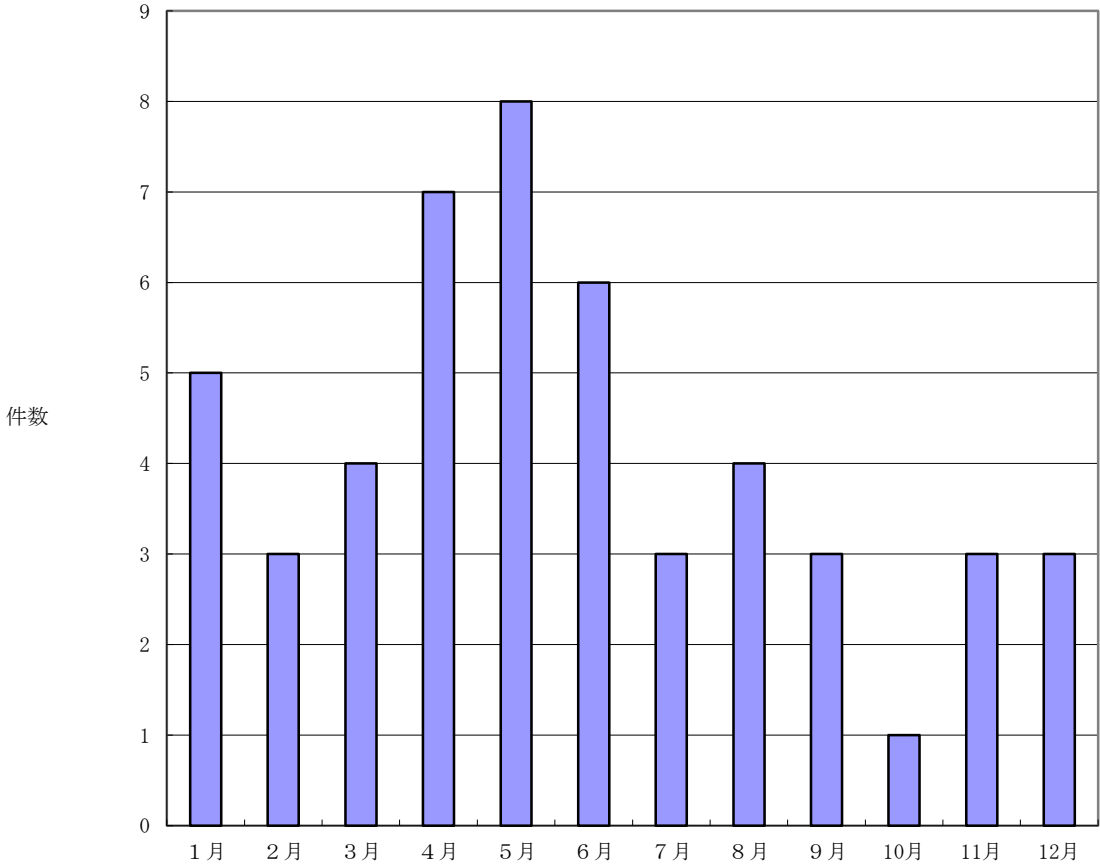
事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計
出動件数		29	5	3	1	3			9	50
活動件数		16	4	2		2			4	28
救助人員		18	4	6		2			4	34
出動人員		292	55	16	8	25			74	470
活動人員		173	49	11		15			30	278



平成24年度水難救助訓練

月別救助出動件数

(H24/1/1～H24/12/31)



(注) 上記件数については、火災出動53件は含まれていません

救助出動件数等

年間出動件数	50件 (火災件数を除く)
年間救助人員	34人
1ヶ月の平均出動件数	約 4 件

発生場所別救助活動の状況

(H24/1/1～H24/12/31)

区分	発生場所		屋 外						地 下	そ の 他	合 計
	住 居	その他屋内	道 路		水 面		山 岳	その他の屋外			
			高速自動車国道	その他の道路	内水面	外水面					
出場件数	5	1		28		6	1	9		50	
活動件数	3			16		4		5		28	
救助人員	7			17		4		6		34	

消防機材等の現有状況

H25. 4. 1

区分	資機材名	本 署	分 署	計
消防資機材	空気呼吸器	27	6	33
	空気ボンベ	61	13	74
	空気充填用コンプレッサー	1		1
	ジェットシューター	4	23	27
	ホース(40mm)	49	15	64
	ホース(50mm)	87	76	163
	ホース(65mm)	151	53	204
	携帯警報器	22	6	28
	タイムキーパー(一式)	1		1
	Aクラス消火剤(ℓ)	120	20	140
	エアフォーム原液(ℓ)	300	40	340
	エアフォームノズル	6		6
	送排風機	2		2
	救助資機材	ポートパワー		1
ガス溶断機		1		1
酸素溶断器		1		1
マルチ測定器(4種類)			1	1
可燃性ガス探知器		1		1
有毒ガス測定器		1		1
酸素濃度測定器		1		1
画像探索システム(プロアイ)		1		1
空気式救助マット		1		1
緩降器(スローダン35m)		1		1
携帯用コンクリート破壊器具		1		1
削岩機		1		1
ハンマードリル		1		1
バッテリー式救助用破壊器具		1		1
万能斧		11	2	13
救助用支柱器具		1		1
ロールグリス		1		1
バスケット担架		2	1	3
平担架		1		1
バックボード		5	4	9
バーチカルストレッチャー			1	1
エンジンカッター		3		3
チェーンソー	3	1	4	

区分	資機材名	本 署	分 署	計
救助資機材	隊員降下用縛帯	13	6	19
	耐電衣	2		2
	耐電ズボン	2		2
	耐電手袋	15	7	22
	耐電長靴	2		2
	ラムシリンダー	1		1
	可搬式ウインチ	2	1	3
	油圧切断器	2	1	3
	油圧スプレッダー	3	1	4
	電動スプレッダー	1		1
	電動カッター	1		1
	重量物排除器具セット	1		1
	マット型空気ジャッキ	3	2	5
	救命索発射銃	3		3
潜水資機材	潜水器具一式	11		11
	救命浮環	10	3	13
	救命胴衣	13	4	17
	水中引揚検索棒	2		2
	水中検索磁石	1		1
	フローテンションカラー	1		1
	携帯水中ライト	9		9
	救命ボート	1		1
	船外機	1		1
	ウエットスーツ	21		21
	ドライスーツ	8		8
照明機具	投光器一式	8	2	10
	携帯用発電機	8	2	10
	携帯ライト	27	12	39
その他資機材	ジャッキ（10t）	1	1	2
	ジャッキ（20t）	1		1
	かぎ付はしご	2		2
	三連はしご	3	1	4
	二連はしご	4	1	5
	携帯マイク	8	2	10

特殊災害（B．C）活動用資器材

H25.4.1

区分	資器材名	本 署	分署	計
隊員保護用器具	化学防護服	3		3
	プレッシャーテストキット	1		1
	タイベック防護服（プロテックF型）	10		10
	（S）	（1）		
	（M）	（4）		
	（L）	（4）		
	（XL）	（4）		
	タイベック防護服（5428PEコート）	10		10
	（L）	（5）		
	（LL）	（5）		
	化学防護長靴	3		3
	耐薬品用長靴	10		10
	耐薬品用手袋	40		40
隊員用ろ過式呼吸用保護具	5		5	
吸収缶	20		20	
測定器	有毒ガス測定セット（北川式）P-50 UFO-II型	1		1
その他の測定器	ガンマ線及びエックス線用線量率計	4		4
	電子式個人放射線量計	15		15
	表面汚染検査計	2		2
	全面マスク	5		5

車両の配置状況

H25. 4. 1

種別 所属	水槽付きポンプ車	消防ポンプ車	化学工作車	救助工作車	梯子車	指揮車	高規格救急車	査察車	事務連絡車	資機材搬送車	人員搬送車	広報車	救急予備車	団本部指令車	多目的車	計
消防本部								1	1		1			1		4
消防署	1	2	1	1	1	1	2			1			1		1	12
耶馬溪分署	1	1					1					1	1			5
計	2	3	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	2	1	1	21

消防用車両一覧表

H25. 4. 1

所属	呼称	登録番号	車輛種別	車名	年式	型式	排気量	艀装メーカー	ポンプ級別	呼出名称	配置年月	車両総重量(kg)
本 部 署	1号車	大分800は905	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)	日野	H-25	SDG-GX7JGAA改	6400cc	小川ポンプ	A-2	消防中津1	H25. 3	11080
	2号車	大分800さ9050	消防ポンプ自動車(CD-1)	日野	H-21	BDG-XZU378M	4000cc	モリタ	A-2	消防中津2	H21. 9	5505
	はしご車	大分88や3312	梯子付消防ポンプ自動車(35m級)	日野	H-6	U-PR2FNAF改	17230cc	モリタ	A-2	消防中津51	H6. 2	19330
	化学車	大分800は797	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型)	日野	H-23	BDG-GX7JGWA改	6400cc	日本機械	A-2	消防中津4	H23. 2	10895
	3号車	大分800す384	消防ポンプ自動車(CD-1)	日野	H-24	SKG-XZU685M	4000cc	日本機械	A-2	消防中津3	H24. 2	5525
	救助工作車	大分800は475	特殊車(Ⅱ型)	日野	H-18	ADG-GX7JGWA	6400cc	モリタ		消防中津8	H18. 4	10470
	救急車1	大分800さ8212	高規格救急自動車	トヨタ	H-20	CBF-TRH226S	2690cc	トヨタ		救急中津1	H20. 3	3215
	救急車2	大分800さ4162	高規格救急自動車	日産	H-14	GE-FLWGE50改	3490cc	日産		救急耶馬溪1	H14. 11	3355
	救急予備車	大分800さ5232	救急自動車(2B型)	トヨタ	H-16	TC-VCH22S	3370cc	トヨタ		救急中津2	H16. 3	2725
	指揮車	大分800さ9391	普通バン	トヨタ	H-22	CBF-TRF226K	2690cc			消防中津5	H22. 3	3070
	団本部指令車	大分830て119	普通乗用車	トヨタ	H-17	CBA-ANM15G	1990cc			消防中津52	H17. 3	1945
	資機材搬送車	大分800す1010	資機材搬送車(3t)	三菱	H-25	TKG-FGB70	2990cc			消防中津53	H25. 2	7565
	多目的車	大分800さ3336	普通バン	いすゞ	H-14	KG-JCWMGE25	2950cc			消防中津9	H14. 1	3310
	査察車	大分88な6632	普通乗用車	トヨタ	H-9	E-AT211	1760cc			消防中津7	H9. 3	1445
	人員搬送車	大分800さ2917	普通ワゴン	マツダ	H-13	KH-SGLW	2490cc			消防中津10	H13. 7	2180
事務連絡車	大分500は7907	普通乗用車	日産	H-16	UA-WFY11	1490cc				H16. 11	1445	
分 署	1号車	大分800は327	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ-A型)	日野	H-16	KK-GX1JGEA	7960cc	日本機械	A-2	消防耶馬溪1	H16. 2	10210
	2号車	大分800す1129	消防ポンプ自動車(CD-1)	日野	H-25	TKG-XZU685M	4000cc	小川ポンプ	A-2	消防耶馬溪2	H25. 3	5355
	救急車	大分800さ9293	高規格救急自動車	トヨタ	H-22	CBF-TRH226S	2690cc	トヨタ		救急耶馬溪2	H22. 2	3195
	広報車	大分88さ8813	普通バン	三菱	H-6	Y-P35W改	2470cc			消防耶馬溪3	H6. 8	2480
	救急予備車	大分88す1694	高規格救急自動車	トヨタ	H-10	GB-VCH38S	3370cc	トヨタ		消防中津50	H10. 2	3065

調査・指導等活動状況

平成24年度

	本 署	分 署	計
防 火 訓 練	129	38	167
見 学	33		33
職 場 体 験	6		6
水利調査（防火水槽・消火栓）	101	131	232
一人暮らし老人宅訪問		24	24



救 急



救急概要

平成24年の救急出動件数は3,686件、搬送人員は3,446人で、出動件数は前年比+114件で、過去最高の出動件数となりました。

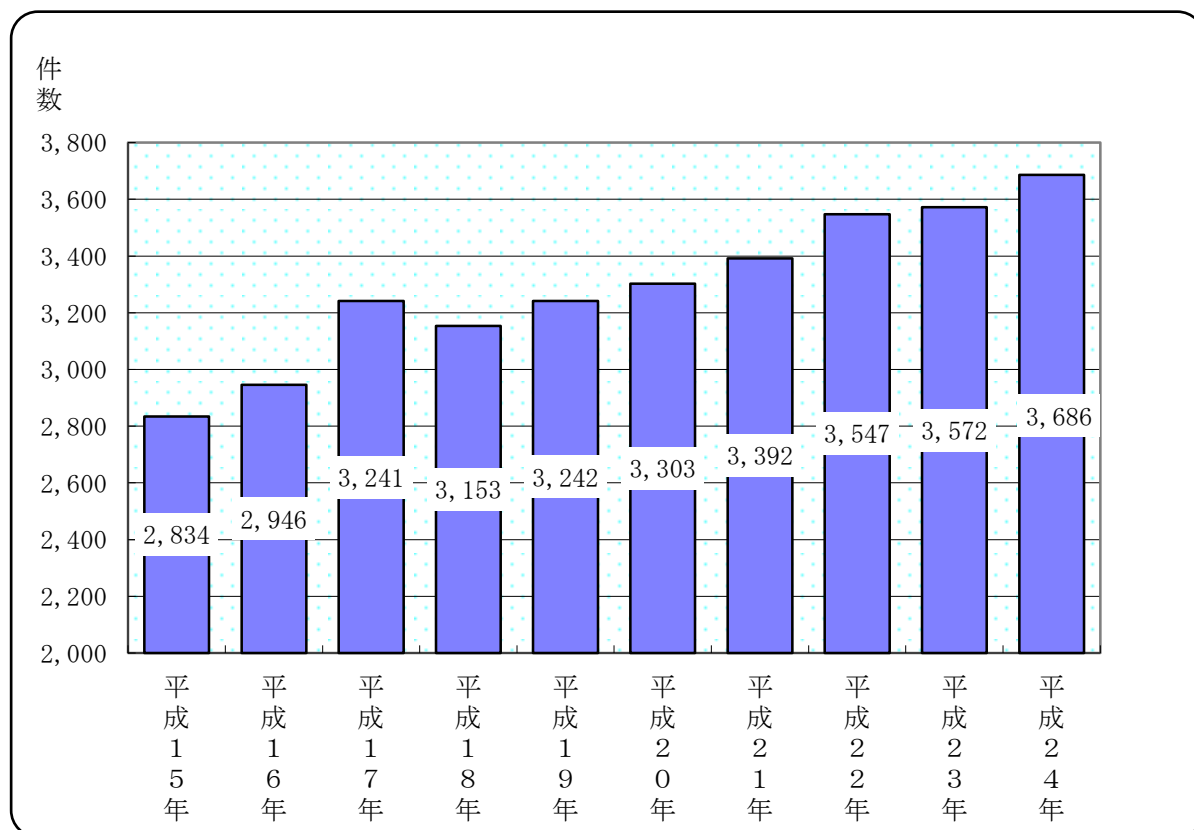
事故種別別出動件数

		平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
事 故 種 別	火 災	5	5	1	1	1
	自然災害					2
	水 難		2	1	3	3
	交 通	312	311	331	325	353
	労働災害	16	16	16	15	28
	運動競技	21	9	20	14	21
	一般負傷	410	439	438	422	481
	加 害	14	22	19	23	21
	自損行為	30	41	32	43	41
	急 病	1,694	1,672	1,834	1,925	1,925
そ の 他	転院搬送	779	853	825	780	779
	医師搬送		1	1		2
	資器材搬送	1				
	その他	21	21	29	21	29
不 搬 送		231	235	230	226	295
搬 送 人 員		3,146	3,210	3,383	3,395	3,446
出 動 件 数		3,303	3,392	3,547	3,572	3,686

各種救急講習会受講者数

	本署	分署	計
上級・普通救命講習	36回 (799人)	0回	36回 (799人)
救急法の講習	60回 (3034人)	9回 (323人)	69回 (3357人)

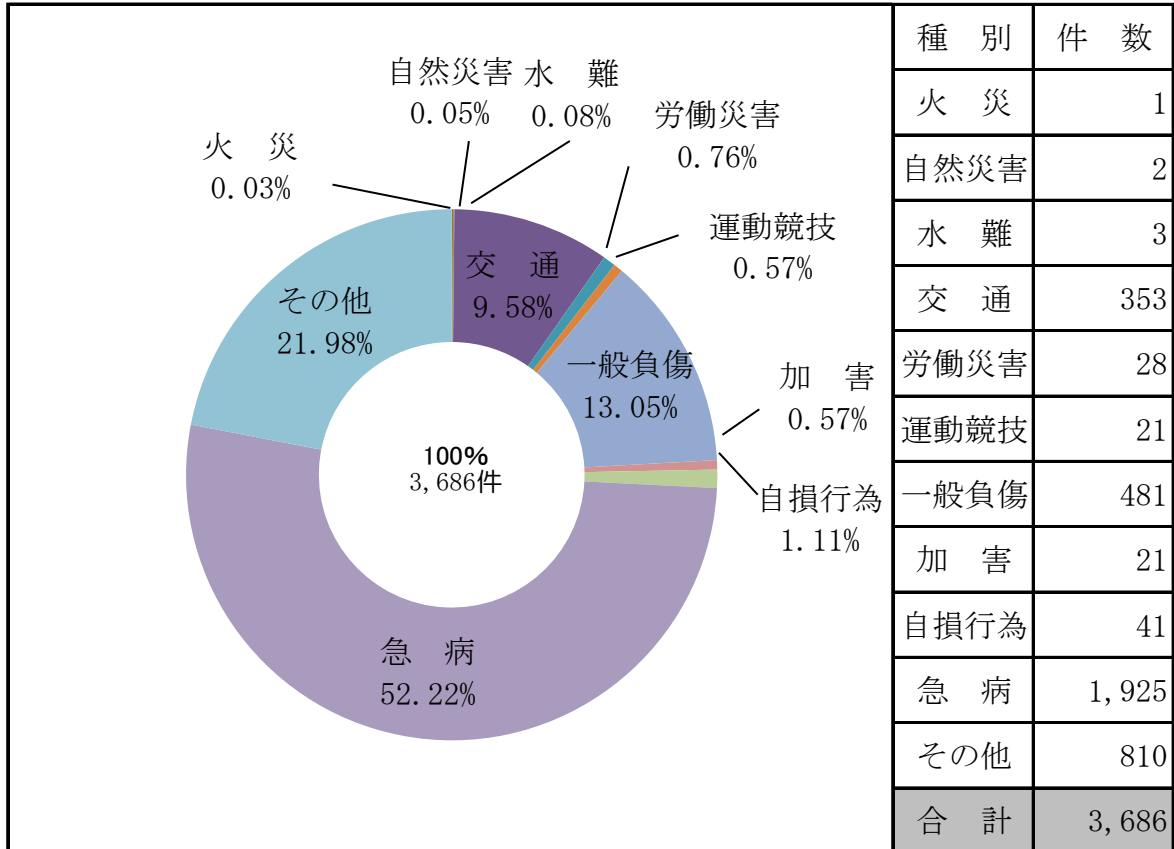
過去10ヶ年救急出動件数の推移状況



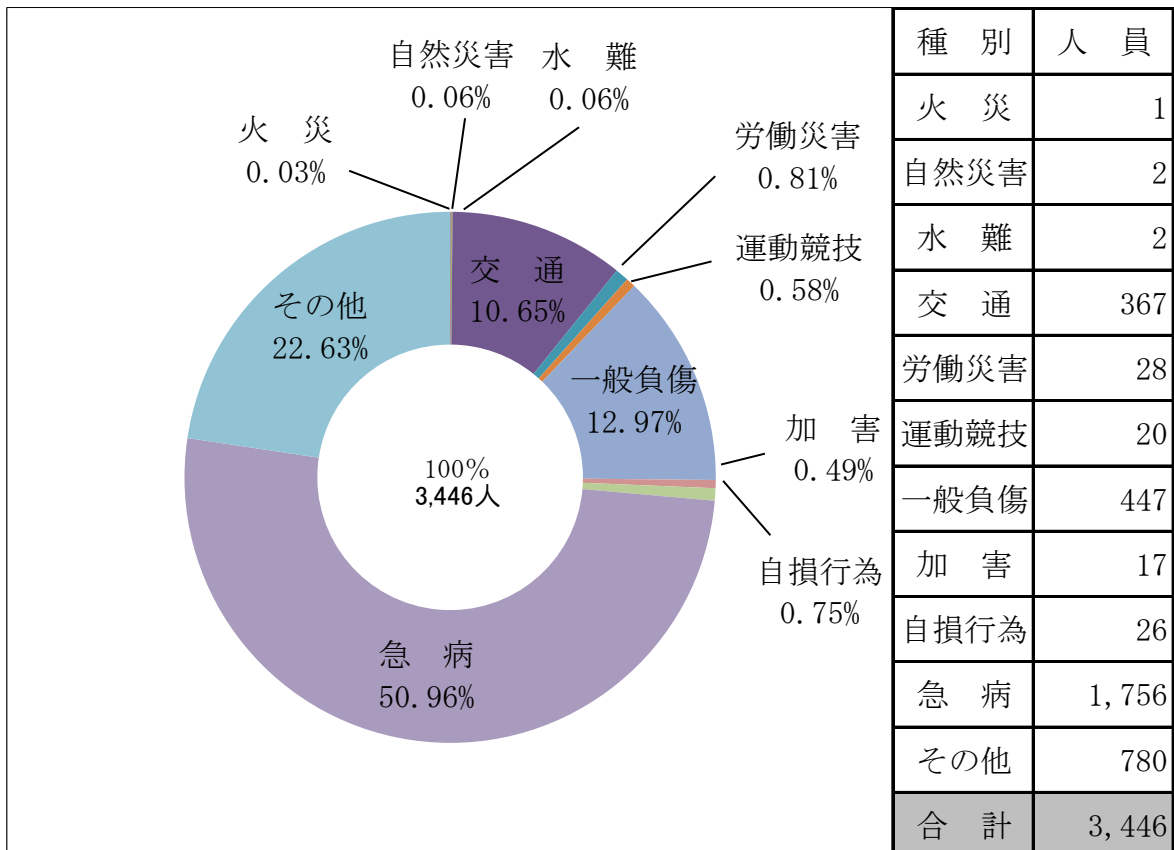
地域別救急出動件数

地域	事故種別											計
	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
中津地域	1	2	2	280	21	11	385	19	37	1,475	693	2,926
三光地域				22	1		23			135	34	215
本耶馬溪地域				14	1	5	31		1	87	5	144
耶馬溪地域			1	27	4	2	28	1	1	140	36	240
山国地域				10	1	3	14	1	2	88	42	161
その他の地域												0
計	1	2	3	353	28	21	481	21	41	1,925	810	3,686

救急出動件数



救急搬送人員



月別・時間別出動件数状況

月 別

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
1月				32	3		45	4	1	156	86	327
2月				26	2	1	35	3	1	146	55	269
3月				27	2	1	30		7	153	70	290
4月				29	3	2	34	1	5	160	76	310
5月				24	2	3	51	2	7	165	58	312
6月			1	35	1	1	30		3	150	55	276
7月		2		23	1	2	49	1	2	196	69	345
8月			1	30	7	2	50	1	3	172	60	326
9月	1		1	26	1	5	36	3	4	129	74	280
10月				41		2	46	2	2	174	73	340
11月				25	3	1	38	2	3	175	74	321
12月				35	3	1	37	2	3	149	60	290
合計	1	2	3	353	28	21	481	21	41	1,925	810	3,686

時間別

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2	1			9			21	4	4	96	11	146
2～4				2			18	5		82	10	117
4～6				9	1		18	1	1	101	9	140
6～8				37			28	1	4	145	19	234
8～10			1	35	8	2	67		4	180	114	411
10～12		1		47	5	5	59		1	241	164	523
12～14		1	1	38	5	6	48		8	186	129	422
14～16				44	2	4	49	2	6	159	125	391
16～18				60	6		65		7	202	103	443
18～20			1	34		3	46		3	206	56	349
20～22				20	1	1	32	3	2	178	46	283
22～24				18			30	5	1	149	24	227
合計	1	2	3	353	28	21	481	21	41	1,925	810	3,686

年齢別搬送人員状況

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児										4	22	26
乳幼児				7			20			49	16	92
少年				29		14	20	1		34	17	115
成人	1	1	2	225	28	6	100	15	15	582	164	1,139
老人		1		106			307	1	11	1,087	561	2,074
合計	1	2	2	367	28	20	447	17	26	1,756	780	3,446

傷病程度別搬送人員状況

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死亡				2			4		5	28	2	41
重症			1	15	4	2	73		3	213	229	540
中等症	1			119	17	5	214	5	9	1,040	512	1,922
軽症		2	1	231	7	13	156	12	9	475	37	943
その他												
合計	1	2	2	367	28	20	447	17	26	1,756	780	3,446

救急出動件数等

年間救急出動件数【平成24年】 3,686件

1日の平均出動件数 10.1件

1日の平均搬送人員 9.4人

※ 2時間35分に1人の割合で搬送しています。

曜日別救急出場件数状況

種別 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
火災						1		1
自然災害		2						2
水難			1	1	1			3
交通事故	50	44	43	56	51	58	51	353
労働災害	1	5	11	1	3	6	1	28
運動競技	1		2	5	1	7	5	21
一般負傷	68	65	76	67	62	65	78	481
加害	3	4	4	2	1	3	4	21
自損行為	9	2	6	6	3	7	8	41
急病	282	269	283	248	228	306	309	1,925
転院	133	113	127	116	132	99	59	779
その他	5		4	6	8	5	3	31
計	552	504	557	508	490	557	518	3,686
	15.0%	13.7%	15.1%	13.8%	13.3%	15.1%	14.1%	

医療機関別搬送人員状況

区分	開設別	国立	公立	公的	私的病院	私的診療所	その他の場所 (ヘリポート等)	計 (人)
	管内			1,005		1,675		
救急告示	管外	35	13	88	175			311
	管内				86	144	5	235
その他	管外	11	12	2	179	11	5	220
	管内							
合計		46	1,030	90	2,115	155	10	3,446
	管内		1,005		1,761	144	5	2,915
	管外	46	25	90	354	11	5	531

覚知別救急出場件数の状況

覚知方法 事故種別	119	加入電話	警察電話	駆け込み	自己覚知	消防無線	その他	計
火 災			1					1
自然災害			1				1	2
水 難	1		1	1				3
交 通	238	11	101		2		1	353
労働災害	27		1					28
運動競技	19	2						21
一般負傷	431	26	14	4			6	481
加 害	15		6					21
自損行為	28		13					41
急 病	1,770	101	30	7	1		16	1,925
その他	転院搬送	138	640		1			779
	医師搬送		1	1				2
	資機材搬送							0
	その他	19	4	2			4	29
合計	2,686	785	171	12	4	0	28	3,686

※ 覚知のその他は、Fax、メール、緊急通報システム等

現場到着までの所要時間（覚知から現場到着までに要した時間区分）

時間 種別	時間					計	現場到着平均所要時間 (分)
	3分未満	3～5分	5～9分	10～19分	20分以上		
急病	19	87	948	789	71	1,914	10
交通	4	26	188	118	14	350	9
一般負傷	8	20	261	173	16	478	9
その他	13	163	505	223	21	925	8
現着なし	19					0	
計	63	296	1,902	1,303	122	3,686	

※ 現着なし：出勤するも現場到着に至らず、途中帰署した事案

医療機関収容までの所要時間

時間 種別	時間						計	収容平均所要時間 (分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上		
急病	2	162	706	814	70	2	1,756	33
交通	1	49	139	155	23		367	33
一般負傷		41	174	209	22	1	447	33
その他	3	210	236	270	154	3	876	37
計	6	462	1,255	1,448	269	6	3,446	



救急隊員の行った応急処置状況

事故種別 区	急病	交通事故	一般負傷	その他	処置なし	計	割合
搬送人員	1,747	340	438	865	56	3,446	
応急処置項目	止血	2	6	8	2	18	0.5%
	固定	24	136	89	31	280	8.1%
	心電図	929	56	86	274	1,345	39.0%
	心肺蘇生	51	1	10	7	69	2.0%
	酸素吸入	402	29	35	252	718	20.8%
	気道確保	25	1	9	7	42	1.2%
	保温	2	3	3	4	12	0.3%
	被覆	2	25	53	16	96	2.8%
	血圧測定	1,640	326	400	785	3,151	91.4%
	SPO2	1,674	327	399	835	3,235	93.9%
	人工呼吸	26	1	7	4	38	1.1%
	聴診器	137	37	20	31	225	6.5%
	その他	1,450	128	250	458	2,286	66.3%

表紙の紹介

【初代中津城藩主 黒田官兵衛孝高】

黒田官兵衛は、豊臣秀吉の命で九州平定の先鋒として豊前に入国し、中津城を造営しました。官兵衛は領内の検知を行いますが、宇都宮氏を中心とした豊前領域の強力な地元豪族たちは黒田に反旗を翻しました。

黒田と豪族たちの間では激しい攻防が繰り広げられ、黒田に反したいくつもの城が落城しました。長岩城はその代表的な舞台として知られています。

官兵衛は、生涯50数回の合戦で一度も負けを知らなかった戦の天才でしたが、人心掌握にも長けていたようです。“人は殺すよりも使え”という官兵衛の言葉はよく知られており、槍や刀で人を殺すのではなく智力で敵を下し、家臣に対しては、教えを諭すようにして極力叱ることがなく、優秀な家臣を残すため自分の死に際しての殉死を禁止したことなどが伝えられています。

また、側室を持たず妻一人を愛した愛妻家だったことや、身分の低い子どもたちを呼び屋敷で存分に遊ばせる子ども好きだったことなどが伝えられており、総じて心優しい人物像が残されています。

表紙写真：「黒田如水画像」大分県立歴史博物館 所蔵